

総務省「ふるさとテレワーク推進事業」 吉岐テレワークセンターのご紹介

Freewill Studio IKI

2018年3月22日

富士ゼロックス株式会社

ソリューションサービスディール推進部
地域創生営業部 未来創り支援グループ
高下 徳広

はじまり

地域の自主性

離島活性化に向けた地域創生連携協定の締結

吉崎市、富士ゼロックスが連携して、観光客誘客、人口増につながる新しい産業の育成、住みやすいまち創りをテーマに、吉崎のみらいを住民自らが描き創造していくことを宣言しました。



吉崎市の魅力を語る白川市長



右から、富士ゼロックス 岡野常務、
吉崎市 白川市長、富士ゼロックス長崎 小林社長

くらしのProfessional
子ども・若者・住民
豊かなくらし

交流人口増加

地域ブランディング

みらい創り
対話会

みらい創り
対話会

新たな産業創出

まちづくり



実りの島
老岐

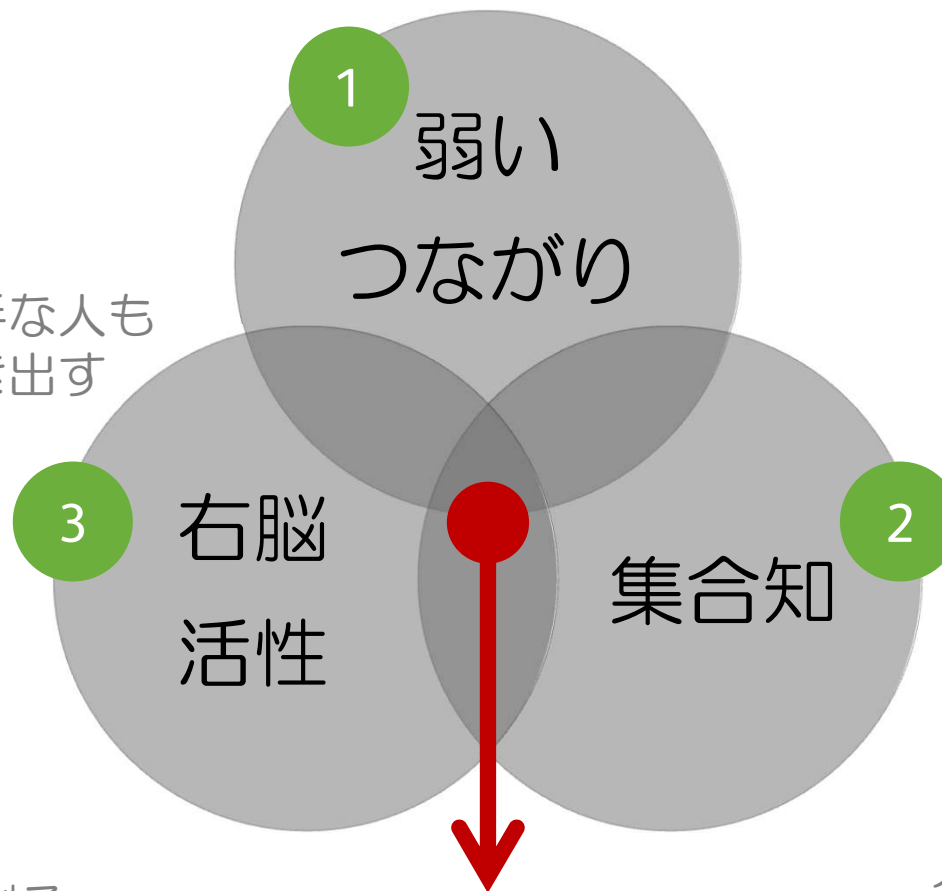
連携

地方行政のProfessional
老岐市役所
自立した地方財政

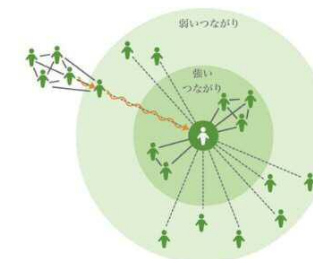
みらい創り・イノベーションのProfessional
富士ゼロックス
共通価値 (CSV) モデルの創造



話が得意な人も苦手な人も
同じ情報量を引き出す



精確ではなく納得を創る



多様な情報を集約・結合

人脈形成

情報発散

情報結合

共通テーマ化



一般公募の自主参加 (のべ)



1,066人



住民自らが「やりたいこと」
「できること」を宣言した



楽しみながら島巡り

壱岐じゅんかん島

学びの島・壱岐

福岡に打って出るぞ

壱岐の空き家で民泊

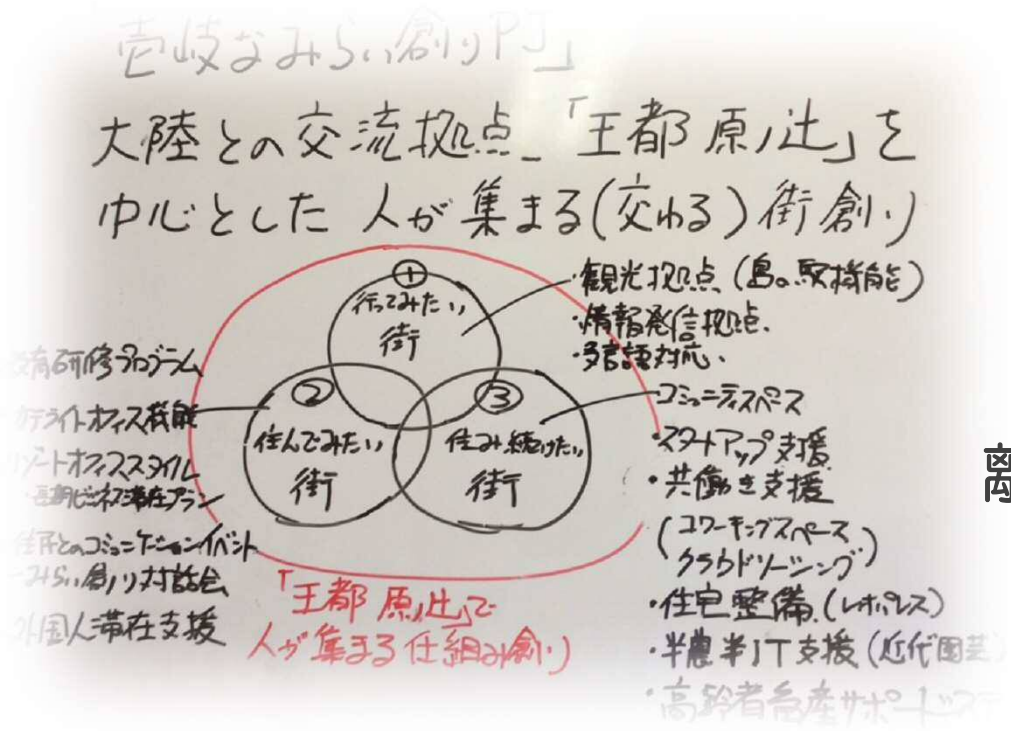
壱岐の農業で活性化

古くて新しい島

壱岐の巡礼

あいさつで地域活性化

大陸との交流拠点「王都 原の辻」を中心に人々が集まる（交わる）まち創り



テレワーク

TELE + WORK

離れた場所から ヒトが集い働く



H28年度総務省「ふるさとテレワーク推進事業」に採択していただき、
吉岐テレワークセンターが誕生

つながる

政策連携・官民協働



愛称

[FREE WILL STUDIO]

働くひとの“自由な意志”を尊重する場所



「原の辻遺跡」は、今から2000年前に栄えた「一支国」（魏志倭人伝にも登場）の王都の遺跡であり、史跡の国宝である国特別史跡に指定されています。

また、平成27年には「日本遺産」にも認定されています。

そして、吉岐テレワークセンターは、「原の辻遺跡」内にある「原の辻ガイダンス」の横に開設されています。

(※ 吉岐市は市内全域に光ファイバ網が張り巡らされており、テレワークに最適な環境です。)



【原の辻遺跡】



【原の辻ガイダンス】

レイアウト

多様なニーズに対応



● プレゼンテーションスペース

大型プロジェクターやカメラ、マイク、スピーカーを備えたスペース（20名）

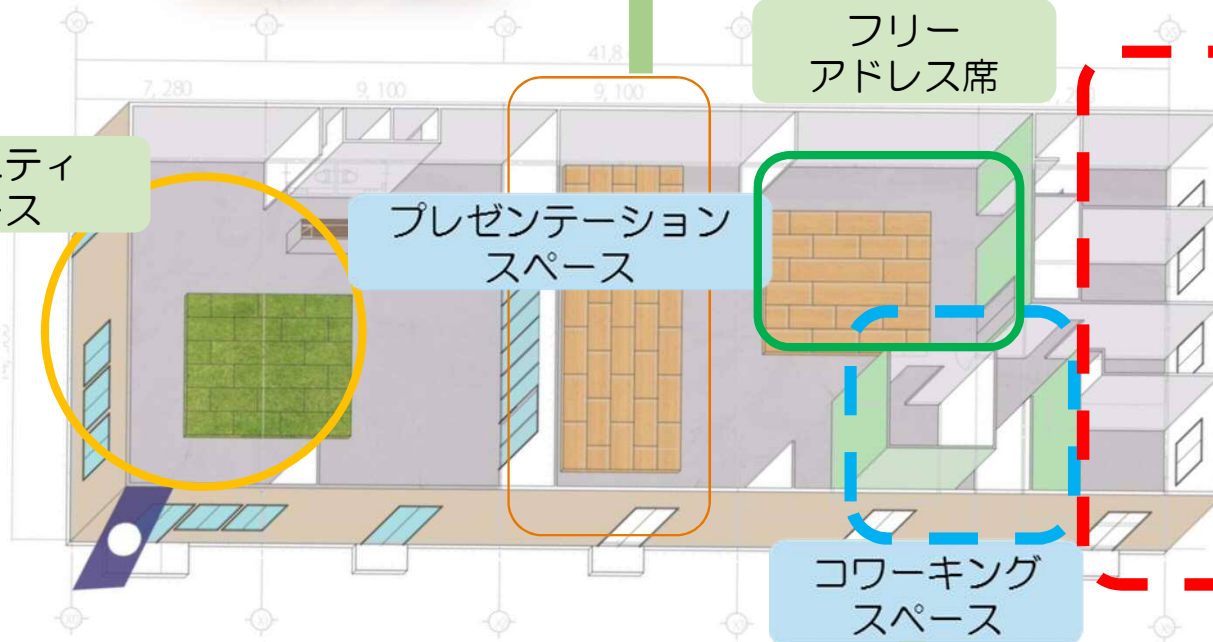


● フリーアドレス席

学校形式のレイアウトにも対応

● コミュニティスペース

子供の遊び場、サークル活動等に活用



● コワーキングスペース

座席数4席固定のワークキングスペース



● サテライトオフィス

2名から4名のコンパートメント（個室）3室



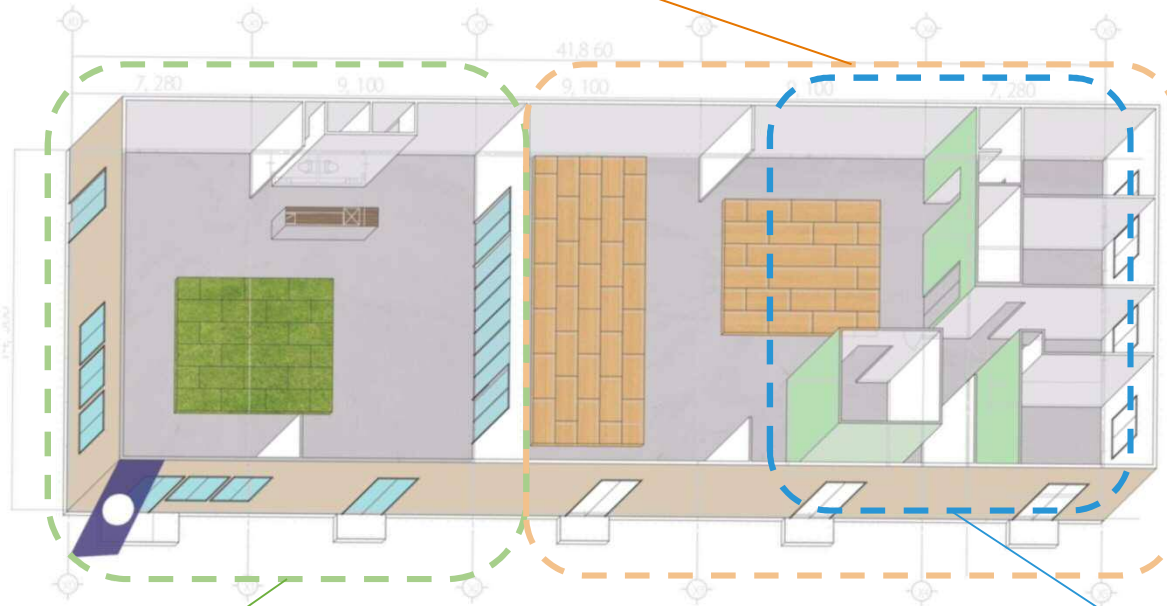
サテライト
オフィス

政策連携による利用促進

内閣府・総務省の政策活用



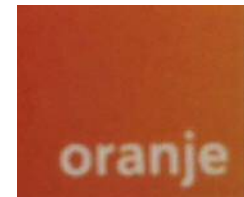
「ふるさとテレワーク推進事業」《総務省》
テレワークの基盤となる就労環境を提供



「地方創生拠点整備交付金事業」《内閣府》
移住者と地域住民の交流環境を提供

「特定有人国境離島交付金事業」《内閣府》
都市からの企業進出を支援

- ・ 「住民対話会」
- ・ 「ストレッチ講座」
- ・ 「子育て相談会」
- ・ 「若手経営者研修」
- ・ 「骨粗しょう症セミナー」
- ・ 「英会話教室」 等々



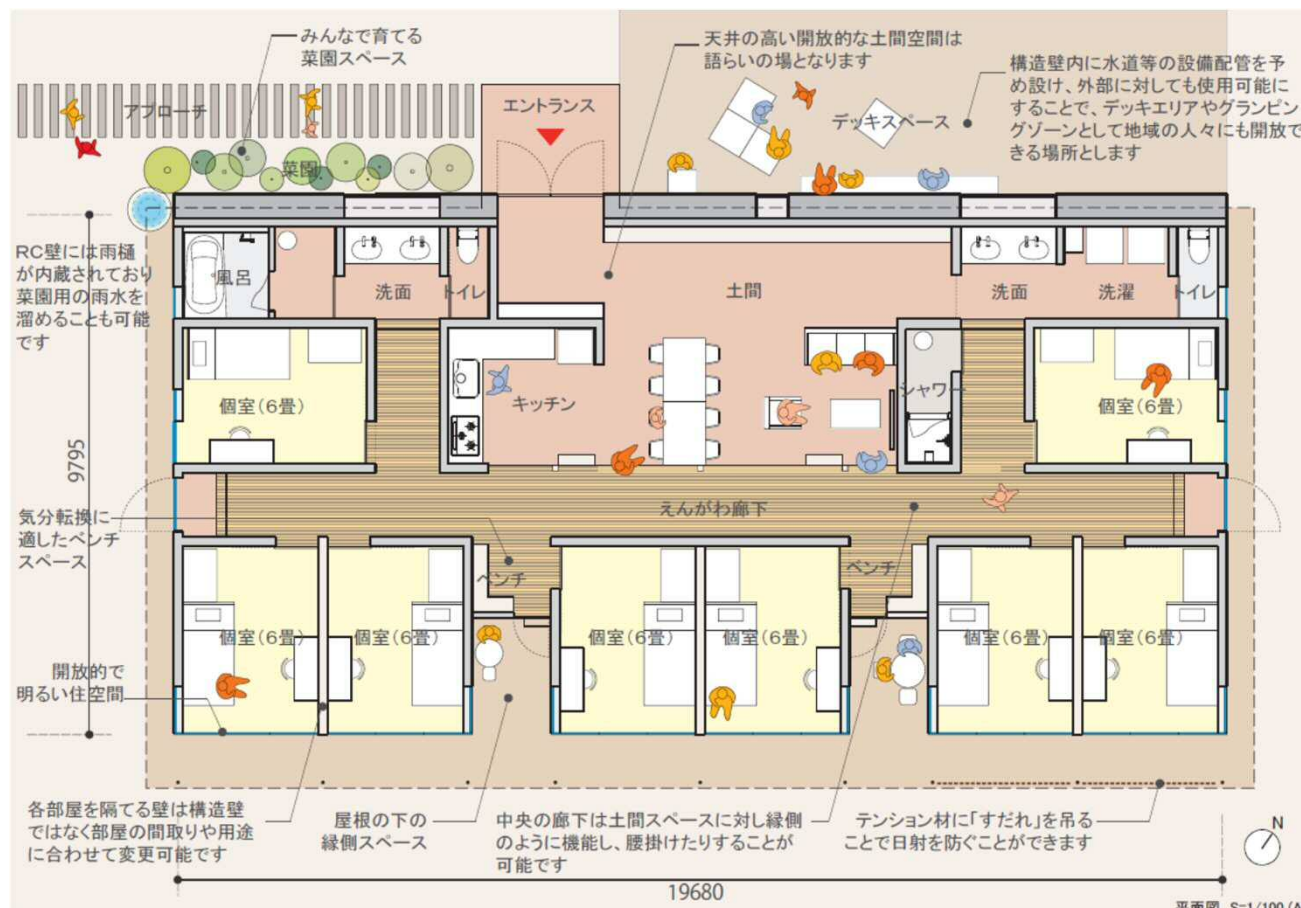
短期滞在者向け住宅の整備

都市部ワーカーの利用促進

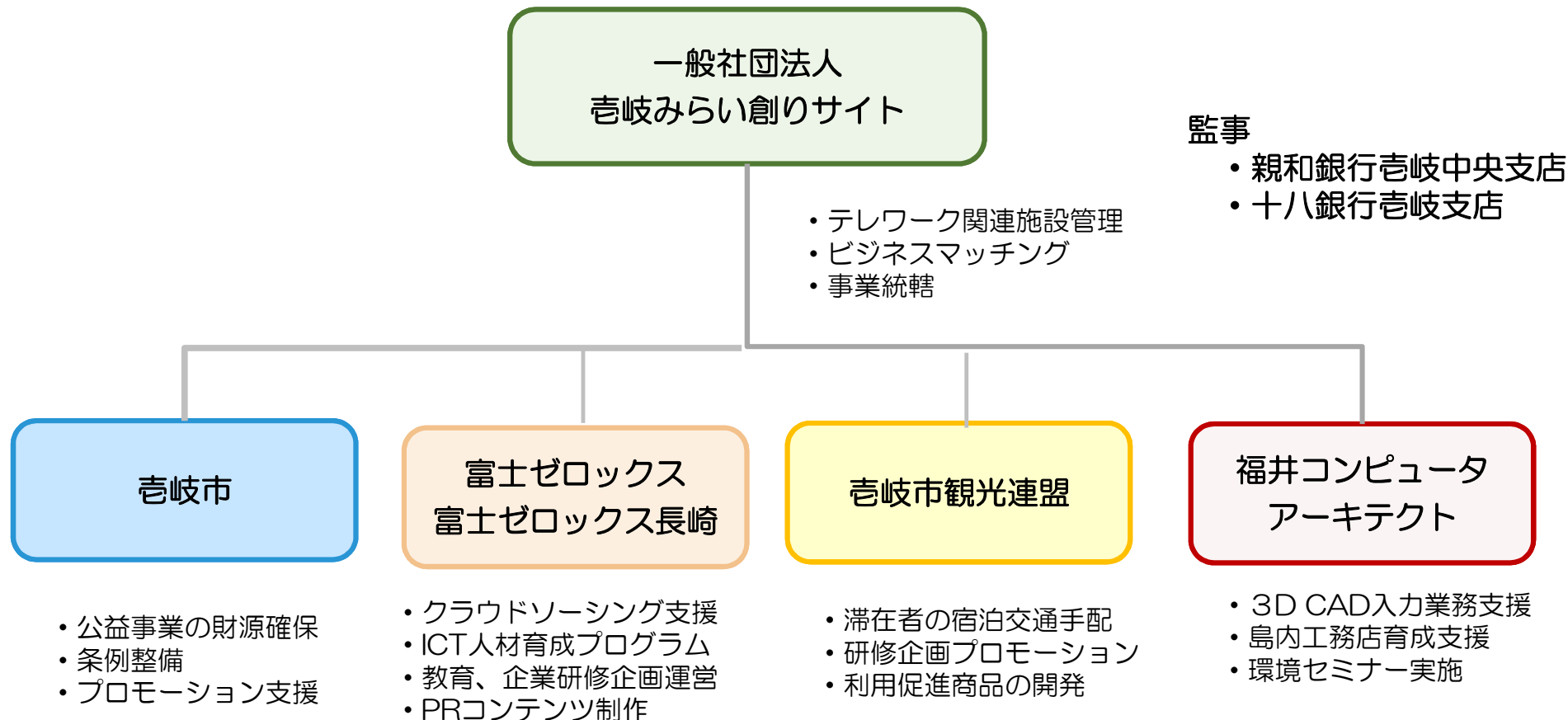


吉崎市が地方創生拠点整備交付金事業《内閣府》を活用して整備。平成30年3月完成予定。

- 構造等 : 木造平屋のシェアハウス。
8戸の居室スペースと共有土間スペースにより構成居室の眺望と採光を最大限に確保、また、広くのびのびとした土間空間の両立を実現させるにあたり「竪穴式住居」の構造様式を導入。



平面図 S=1/100 (A3)



すすめる

企業間連携

■ 島外の企業・ビジネスマン/ビジネスウーマン

- 企業のサテライトオフィス
- 企業のスタートアップ拠点
- リゾートテレワーカーのコワーキング
- 企業研修、プロジェクト合宿



Web会議の様子

■ 吉岐市内のテレワーカー

- 新たな仕事の創出拠点
- 起業者の事業拠点
- 教育研修、会議
- 都市部テレワーカーとの交流



Webライティングセミナーの様子
(子供づれの母親も参加)

〇 ぎ岐に住んでいる自営業者や女性（主婦や子育て中の方など）

… 地方創生推進交付金事業を活用してクラウドソーシング教育訓練を実施

- スキル・リソース不足でぎ岐外に流れていた仕事をぎ岐市内で循環させる環境を構築。
- ぎ岐市が外部に発注しているホームページの紹介記事の作成。
- 主にインターネットで公開されている記事の執筆。
- 西日本新聞メディアラボ社 × ランサーズ社によるワーカーへのフォロー体制の構築。

• 島内育成ワーカーの受注人数：24人



子供用スペース

○ ペンシル（福岡市）… 国境離島交付金を活用して吉岐に進出。

先般、島内の新オフィス（古民家）に移転。

→ ・福岡を拠点としてウェブコンサルティング業務等を全国展開している。

吉岐拠点開設に伴うスタートアップ拠点として入居。

今年1月、古民家をリノベーションした新オフィスに移転し、業務展開中。

・職員6名

（センター長：1名、採用予定：5名（現在、主婦3名、シニア1名を採用済））



築56年の古民家をリノベーションしたオフィス（郷ノ浦町）
各エリアには吉岐の自然や特産物をイメージした色を使用

職員の皆さん



〇一社 壱岐みらい創りサイト（福井コンピュータアーキテクト東京都）

… 国境離島交付金を活用してテレワークセンター内で新規事業立上げ。

- 住宅関連の3D-CAD入力や耐震・省エネ計算について、現在島外に外注している需要を内製化するとともに、首都圏、九州市圏からの住宅関連の耐震、省エネ性能を積算
- 島内住宅建築業者向けの「エコ住宅設計、耐震性能/省エネ性能積算」に関する有料研修を行う。

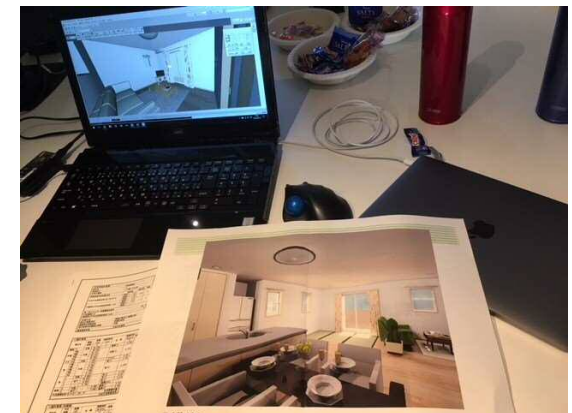


- 職員6名

（採用予定：6名（現在、主婦1名、障がい者1名、アルバイト1名を採用済））



職員の皆さん



二つの事業の柱による新たな雇用の創出。

①住宅3DCAD (BIM※)入力事業

- 業務委託
- ・ 住宅CG
- ・ 耐震計算
- ・ エネルギー計算
- ・ その他

+

②研究・研修事業

- 新たな住宅建築知識の研究と研修
 - ・ 耐震計算 等級3
 - ・ エネルギー/外皮計算
- 住まい方研究と研修
 - ・ 省エネ/再エネ
 - ・ ZEH
 - ・ ヒートショック



働き方改革

地域雇用促進

障がい者雇用



※ BIM = Building Information Modelingの略

○ オレンジ（福岡市）… 国境離島交付金を活用して壱岐に進出。

- ・システム開発やウェブサイト制作などの福岡本社の事業受注の拡大に伴い、システム制作や開発を行う生産部署の事務所を壱岐市に開設。
システムエンジニア育成のための島外企業への派遣研修も実施。

・職員3名（代表者1名は非常勤（本社と行き来する）、採用：2名（島内者2名採用済））



ひろがる

産学官連携



【日本の労働制度と働き方が抱える課題（メンタル不調の要因）】

- ① 長時間労働 ② 通勤時間のストレス ③ 家族と過ごす時間の減少

壱岐×テレワークで解決

● ワーケーションの支援拠点（ワーク×バケーション）

→ 健保組合と連携して、社員の福利厚生への補助・支援としても実施

《「ワーケーション」のイメージ》

- ・ 家族旅行に同行して（又は家族を帯同して）リゾート地・壱岐で仕事をし、早朝や夕方以降の時間をレジャーに充ててリフレッシュ。柔軟な発想を促進するとともに、働き方を改革。
- ・ 実施中は出勤日として扱い、有給休暇と組み合わせて実施も可能。

- ・ センターの利用時間を制限し、労働時間をコントロール ⇒ 長時間労働の抑制
- ・ 徒歩通勤可能なシェアハウスの利用 ⇒ 通勤時間ストレスの解消
- ・ 家族帯同許可によるワークライフバランスの改善 ⇒ 家族と過ごす時間の増加



- 福岡本社や東京オフィスなどの社員の研修/合宿施設として活用
- 業務に支障がないかぎり、その日の都合によってどのオフィスで働くかを選べる制度「タラワーク」の拠点として活用し、より多様な働き方を提供できる環境を構築



研修/合宿

クライアントとの合宿や
社内合宿施設として活用



タラワーク制度

「来週は東京オフィスで
働け“たら”いいのにな」
「子どもの夏休み期間は
1週間だけ壱岐で働け“たら”いいな」



健康食品など今後需要がさらに高まるシニア向け商品のウェブサイトにおける、シニア層にとっての「**使いにくい**」や「**わかりにくい**」を確認する「SFO(シニアフレンドリー最適化)サービス」を構築

アクティブシニアの 雇用による シニア対応サイト 診断サービス



壱岐市及び富士ゼロックスでは、壱岐テレワークセンターにおいて、壱岐市民及び企業のテレワークを推進することにより、壱岐への仕事の流れの創出、さらなる地域活性化を図ります。
今後とも、皆様方のご支援、ご指導をお願いいたします。



